

第1話

獨り占めして
姉妹たいっ!

タケユウ
Takeyuu

立ち読み版





そりゃ
覚めたよ!

勝手に俺んちに
入ってきやがって

おかん...

えー

祐樹のお母様は
どうぞーで快く
入れてくれたわよ

こというわけで
もう一回
今度はキスしよ



んっ目は覚めたかな?





朱莉…!
ちよっと落ち着け!

やーだー



びびくりした…

祐樹君の部屋
からだよね…?

うーっ…

…朱莉ちゃんも
来てるって祐樹君の
お母さんが言ってたけど…

…変な事してないかな



お邪魔
しまーす…



少しだけ…



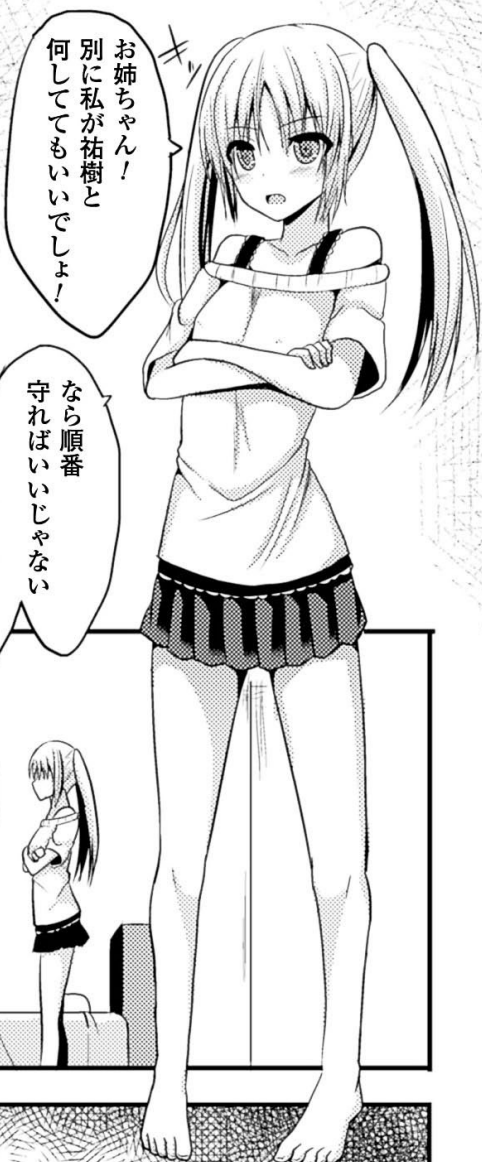
…うん
見張りにきたわけだし…





よよくないよ私だって祐樹君と…

そーいうのじゃなくて…
気持ちの問題
というか…



お姉ちゃん！別に私が祐樹と何してもいいでしょ！

なら順番守ればいいじゃないそれを横から入ってくるなんて



あ…あの…

なに？



たじ…

たじ…

もう少し…
姉妹仲良く
祐樹は黙ってて

うっす…
ニハ…



いわゆる
幼馴染た

この家に引つ越した時
隣の家に居た姉妹



はあ：
前はもつと仲良かった
んだけどなあ

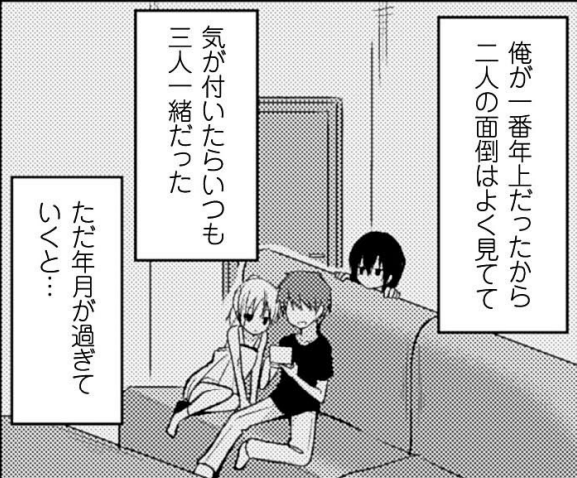
そうそう
まだ小さい時…



二人から告白された
俺は



どんどん女らしく
なっていくって



俺が一番年上だったから
二人の面倒はよく見てて

気が付いたらいつも
三人一緒だった

ただ年月が過ぎて
いくと…



二人とも…



やっちまったのだ…



この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>